

## 第4回利根川上流流域治水協議会 議事概要

- 1 日時：令和4年3月9日 13:15～15:00
- 2 開催方法：WEB会議
- 3 出席者：別紙
- 4 議事概要

### (1) 規約の変更について

構成員の追加に伴う規約変更について確認し、了承された。

(追加構成員：気象庁東京管区气象台、水戸地方气象台、宇都宮地方气象台、前橋地方气象台、熊谷地方气象台、銚子地方气象台、東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社鉄道事業本部技術統括部施設部、上毛電気鉄道株式会社)

### (2) 流域治水の取り組みについて

流域治水プロジェクトの充実について、関連資料によりその内容や背景について事務局より説明された。

令和3年3月策定の利根川・江戸川流域治水プロジェクト【利根川上流区間】に、これまで実施した取組、グリーンインフラの取組、住民参加の取組及び水害リスク情報充実を加えた、利根川・江戸川流域治水プロジェクト【利根川上流区間】について確認し了承された。

### (3) 出席者の主な発言

【利根川上流河川事務所長】利根川上流河川事務所においては、沿川自治体を中心に、自治体の広報紙に、事務所の工事の実施状況などの記事の掲載をお願いする取り組みを進めている。これは、我々の取り組みを多くの方々に知っていただくとともに、本取り組みを通じて、「治水の大切さ」や「インフラの大切さ」など、我々の取り組みの意義をしっかりと伝えていくことを目的とするもの。実施している堤防強化や樹木伐採、河道掘削の状況等を掲載することで、これまで知られていなかった取組や治水の大切さを伝えていただいたり、令和元年の台風19号を忘れないよう、台風19号時の写真を活用し、水害リスクを

伝えていただいている。

今後とも、自治体広報紙を通じた連携を含め、皆様とともに頑張りたい。

【坂東市長】坂東市では、平成 25 年豪雨による浸水を受け、雨水幹線整備により内水氾濫による浸水被害の解消と軽減に取り組んでいるところ。

大規模な水害等有事の際に機能する危機管理体制の強化を考えたとき、この協議会の強みである広域連携が最も欠かせないものであり、今後も皆様方のご協力を賜りながら、地域防災力の強化と市民の命と財産を守る安心なまちづくりに努めてまいりたい。

【板倉町長】板倉町では、国により利根川の堤防嵩上げ工事が進められているが、1000年に一度の降雨では町の全域が浸水するため、一部の高台を利用した車中避難可能な「洪水時緊急避難場所」の整備を進めているところです。近隣自治体とも交流しながら、広域避難についても国、県とも連携し進めてまいりたい。

【孺恋村長】孺恋村では利根川上流域の自治体と連携し流域治水に取り組んでいるところです。令和元年東日本台風は、村内に大きな被害をもたらし、国等の支援もあり災害復旧も進んでいるところです。この台風では、試験湛水を開始したハツ場ダムが効果を発揮し、流域治水が必須であると認識をしたところです。昨年 12 月には孺恋村で火山砂防フォーラムを開催し、地元中学生の半年にわたる学習成果を全国に向け発表を行いました。引き続き、上流から下流まで、官民連携しながら流域治水に取り組んでまいりたい。

【本庄市長】本庄市では、令和元年東日本台風において利根川や小山川の河岸洗堀、護岸の崩壊があり復旧工事が国、県で行われました。市街地では、床上、床下浸水が発生し、この被害を防ぐため浸水シミュレーションを行い対策の検討をしているところですが、現状で計画されている治水対策では、令和元年東日本台風クラスが再来した場合には再度被害が発生する可能性が高く、このクラスの台風に対応する

対策は大規模になることから市単独で実行できる対策は限られているため、幅広い支援をお願いしたい。

【利根川上流河川事務所長】流域治水協議会などで引き続き構成員と連携をして意思疎通を図ってまいりたい。また、自治体の広報誌等を通じて治水の大切さを多くの市民の皆様に伝えてまいりたい。

【埼玉県下水道局】市町村の下水道に関する技術的助言や交付金事務について円滑に活用できるように支援してまいりたい。また、国におかれても幅広い支援をお願いしたい。